

令和5年1月栃木市教育委員会定例会会議録

令和5年1月栃木市教育委員会定例会を、令和5年1月27日栃木市役所に招集した。

- 1 本委員会の出席者は、次のとおり
青木 千津子教育長 後藤 正人職務代理 福島 鉄典委員 西脇 はるみ委員
館野 知美委員 林 慶仁委員
- 2 本委員会の欠席委員は、次のとおり
大橋 孝子委員
- 3 本委員会に出席を求められた職員は、次のとおり
参事兼教育総務課長 金井 武彦
参事兼学校教育課長 金井 睦
美術・文学館課長 加茂 浩史
- 4 本委員会の署名委員は、次のとおり
館野 知美委員
- 5 本委員会の書記は、次のとおり
教育総務課 主任 飯田 愛理
- 6 本委員会の会議案件は、下記のとおり

日程第 1 会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議事

議案第 1 号 栃木市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

議案第 2 号 栃木市立美術館作品収集専門者会議の参加者の決定について

日程第 4 その他

《会 議》

教 育 長 — 午前9時30分定例会の開会を宣し、出席委員、出席を求められた職員、署名委員、書記及び会議案件を報告する。 —

教 育 長 日程第1 会議録の承認について、でございます。12月定例教育委員会の会議録につきましては、あらかじめ委員の皆様へ配付したとおりでございます。ご質問ご意見等はございますでしょうか。

— なしの声 —

教 育 長 それでは、会議録への署名をお願いいたします。

教 育 長 次に、日程第2 教育長報告でございます。

— 1月栃木市定例校長会の資料に基づき説明 —

1 年頭のあいさつ

(1) 今年の干支に因んで

今年の干支は癸卯。癸というのが十干の中の最後に当たるということで、終わりと同時に始まりの意味が込められている。卯は、門が開いている形に似ていることから、冬の門が開いて春に向かって動き出す意味が含まれているので、この両方の漢字を合わせると今までの苦労が実って、花開くそんな明るい意味がある。これは諸説ある中の一つだが、縁起がいいということで紹介させていただいた。

(2) 時の話題から

今、部活動の地域移行に関して、新聞等でも物議を醸しているが、本市としては、一朝一夕にいくものではないかもしれないけれども、今まで先生たちのボランティア精神に頼っていた部分が多かったので、地域社会みんなで子どもたちを育もうという観点から、徐々に地域に移していくというコンセプトは私としてはいいものではないかと思っているという話をさせていただいた。ただ、すぐにこれが実現するかというと、それには解決しなければならない課題が山積みなので、本市では関係各課からメンバーを募って、タスクフォースを立ち上げ会議を実施し、その結果を基に検討会議を立ち上げ、次年度にはモデルケースとして2校ぐらいを指定して、まず、とにかく一歩でも二歩でも進めてやってみるという、そういう考え方でいることを説明し、理解を求めた。

不登校を一緒に考える保護者の集いについて、紹介した。学校現場はどうしても民間団体等との繋がりに対して多少及び腰になっている部分もあるかと思うので、とにかく子どもを真ん中に置いて、子どもの居場所作りという観点から、今後はそういった民間団体とも関わって良い関係を築いていく必要があるのではないかとということで、理解を得るために紹介させていただいた。

2 しめくくりの学期、そのスタートに当たってお願いしたいこと

(1) 《確かな学力の育成》に関して

今年度、都賀ブロックで学力向上の実践研究の発表があった。どの学校からも数名の先生たちが参加して研究会に臨んだが、その3年間の研究の成果を、自校化を図りながら積極的に取り入れていただきたいとお願いした。また、タブレット端末の活用のあり方ということで、学力向上の観点からどんな活用の仕方をしていいのかというのを、小中一貫の観点から中学校ブロックで検討することが望ましいのではないかとということで、東陽中ブロックが小中一貫の組織の中にタブレットの活用という観点から情報教育の部門を新設して、ブロック内で情報教

育年間計画を策定している。そのことについて、校長会の小中合同での情報交換の場で共有していただけたらということで、特に東陽中ブロックの校長先生方には共有化を図ってほしいとお願いした。

(2) 《いじめ・体罰（暴言）のない学校》に関して

「そんなつもりはなかった」は通用しない。悪気はなくても、例えば、親しみを表すために子どもたちをあだ名で呼んだり、励ます意味で肩を抱いてしまったり、そんな不用意な発言や行動が大きな火種になる。そして子どもたちの心、それから保護者の心を傷つけることになるということを申し上げた。対象の子どもが何とも思っていないとしても、周囲の子どもたちの目がある。そういったこともしっかりと認識して、校長先生の強いリーダーシップを期待したいとお願いをした。

(3) 《自校の学校経営グランドデザインの策定》に関して

現在策定中の第3期栃木市教育計画に基づいた本市の学校教育の重点の内容を参照し、次年度の学校グランドデザインの策定をしていただきたいとお願いした。3学期は締めくくりの学期であると同時に、次年度への勢いあるスタートへの準備の学期であることを念頭に置いて、学校グランドデザインの具現に資する各教育活動の改善策を具体的に検討するようお願いした。

3 おわりに

前回、子ども主体の授業作りという観点から、ある大学生が自分の妹が通う学校のボランティアとして入り込んだときに、自分が子どもの時に受けていた授業はどちらかというと先生主導の授業だけれど、妹が受けている子ども主体の授業を見て、自分はこの教育に携わりたいということで教職を目指すことにしたという例を挙げた。その続編として、具体的に子ども主体の授業作りとはどういうものなんだろうかということについて、良い資料があったので、参考資料として付けた。教師の姿勢次第で、教師主導の授業になってしまったり、あるいは子ども主体の授業が展開できると。やはり教師の授業への向かい方で変わってくるんだということをごここでは紹介させていただいた。

— 文化講座「とちぎの近代美術」について —

栃木市立美術館の杉村館長を講師に、栃木文化講座特別講座を開催した。杉村館長が栃木県立美術館に勤務していたときに、清水登之についてかなり深く研究をされていたということで、特に詳しい説明をしていただいた。その話の中で心に残ったのが、清水登之がアメリカで描いた「ニューヨーク、夜のチャイナタウン」。その絵の中心部分では、今からパーティーに向かおうとしている人たちが、バスにたくさん乗っていて、黒人男性が白人女性をエスコートしているようなシーンがある。今でも人種差別はまだ尽きないが、当時のアメリカでは、黒人男性と白人女性が寄り添っているなんてことは考えられない時代であり、清水登之はそのアメリカの人種差別について、アイロニックに絵に表したのではないかと館長はおっしゃっていた。また、中心部とは外れたところに、二人の男性が干してあったシーツのようなものを2階から下ろしているような場面があって、絵の中心部分とは外れたところに何かもう一つの違う世界のシーンをさりげなく取り込んでいる。それは喜多川歌麿の「深川の雪」にもあり、華やかな中心部分から外

れたところで、女中が夜具を運んでいるシーンがあって、そのコンセプトが似ているような気がしていると。もしかしたら、清水登之がアメリカにいる頃に歌麿の「深川の雪」を見て、そしてその一部分をモチーフとして取り入れたのではないかというような想像をされていた。全然かけ離れた喜多川歌麿と清水登之の絵の中に、何か共通するコンセプトがある。そういう絵の鑑賞の仕方について、一つの例を挙げていただいたと思っている。また、清水登之はピカソにも非常に影響を受けていて、「水兵のいるカフェ」では、水夫の体つきがちよっとおかしな構図があって、それはまさにピカソの絵に影響を受けて、そういった不自然な形を描いたのではないかということで、いろいろな画家が様々な画家の影響を受けながら、自分の絵に取り込んでいる、そういう一つの例を挙げていた。その他にも、栃木市ゆかりの橋本邦助や刑部人の紹介もあったが、本当に杉村館長はお話が上手で、きっと会場に集まってくださった方々は市立美術館に足を運ぼうと思ってくれたのではないかと思う。福島委員から付け足しや感想などありましたらお願いします。

福島委員

先日、杉村館長の話聞いて絵というのはその中にあるドラマであったり、あるいは人間関係であったり、時代背景であったり、勉強しないと分からないことがたくさんあるんだなっていう感じを受けました。やっぱり、あの1枚にいろんなドラマがあって、人間関係があつてっていうような、そういう見方をする絵を見ると、楽しさが何倍にもなってくるのかなど。また、清水さん以外にも自分が住んでる栃木市出身の人で絵が上手な人がこんなにいたのかと、これをもうちょっと宣伝してもいいんじゃないかなっていうふうに思えるぐらい、文化の街栃木市を発信していけるようないろいろな題材があるんだなということを改めて教えていただいて、他の市に対して誇れるそんな気持ちにさせていただいて、非常にありがたかった。私も教育長と同じように非常に充実した時間を過ごさせてもらって、ぜひ開館した暁には見に行きたいなというふうに思いました。

教育長

他にご質問等ございますか。

福島委員

いじめ・体罰（暴言）のない学校のところで、「そんなつもりはなかった」は通用しないってかなりの強い勢いを感じる場所ですが、具体的に何かあったというわけではないんですか。

教育長

ある学校でやはりそういった事例がありました。他の学校にも起こりうることで、本人は悪気が全くなくても、本当に愛情表現で肩に手を添えてしまったりとか、昔だったら何ともなかったかもしれませんが、やはり感じ方によっては人権侵害、セクハラになってしまうので、気を付けていただきたいということでお示しました。

教育長

他にいかかでしょうか。

— 質問なし —

教育長

次に、日程第3 議事に入らせていただきます。議案第1号 栃木市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について、を議題といたします。学校教育課長より説明をお願いします。

学校教育課長

〔説明要旨〕

栃木市いじめ問題対策連絡協議会委員のうち、関係団体等が推薦する者の選出区

分で委嘱した秋山善男委員が、令和4年12月2日をもって辞職したことから、後任委員として梁島あけみ氏を委嘱することについて、議決を求める旨説明。

教 育 長 議案第1号について、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

— 質問なし —

教 育 長 それでは議案第1号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なしの声 —

教 育 長 異議なきものと認め、議案第1号について、可決いたします。

教 育 長 次に、議案第2号 栃木市立美術館作品収集専門者会議の参加者の決定について、を議題といたします。美術・文学館課長より説明をお願いします。

美術・文学館課長 [説明要旨]
 栃木市立美術館作品収集専門者会議設置要綱第3条第2項の規定に基づき、栃木市立美術館作品収集専門者会議に参加する者を決定することについて、議決を求める旨説明。

教 育 長 議案第2号について、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

林 委 員 メンバーのところで、それぞれの専門分野が近現代絵画、工芸等と書いてありますが、将来市立美術館の作品を収集する専門家を選ぶということだと思います。そうすると、現在栃木市は、美術品とか工芸品を多く所蔵していると思うんですけど、それと同じ分野の人たちを選んでいるような形ですが。例えば、足利市は日本の刀剣を所蔵し、企画展などで人を集めています。そういった別の分野の専門家を選ばないということは、栃木市は美術と工芸だけでいくっていうメッセージ性が出てしまうような気がするんですがどうでしょうか。

美術・文学館課長 当美術館は基本的に近現代の絵画を取り扱うというメインのコンセプトがございしますが、要綱の第3条第1項には5名以上の参加者をもって構成すると書かれています。例えば、専門分野外の作品の寄贈依頼であったり、どうしてもこれは市として必要だっというものがあれば、判断を仰ぐためにもう1名、そういう専門分野の方に入っていただいて、ご意見をいただくような形で進めていければと考えています。

教 育 長 他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長 それでは議案第2号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なしの声 —

教 育 長 異議なきものと認め、議案第2号について、可決いたします。

教 育 長 次に、日程第4 その他に入ります。栃木西部地域の小中学校適正配置について、教育総務課長より説明をお願いします。

教育総務課長 — 栃木西部地域の小中学校適正配置について、状況報告 —

教 育 長 ただ今、事務局より説明がありましたが、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

— 質問なし —

教 育 長 以上で、本日の案件はすべて終了いたしました。委員の皆様から何かございますか。

— なし —

教 育 長

ありがとうございました。それでは、これもちまして本日の定例教育委員会を閉会といたします。

—— 午前10時7分委員会の閉会を宣した。——

令和5年1月27日

教 育 長

署名委員